

江口議長が辞職

職権濫用を謝罪しないまま

3月議会初日開
会直前になって

3月議会初日開会直前です。2月20日、江口徹議長が辞職願を提出しました。市議会は、議長の職権濫用を追究する辞職勧告決議を可決していました。兼本芳雄副議長も辞職し、正副議長選挙が行われました。

●選挙結果

(出席25・欠席1)

●副議長選挙

深町善文16票 当選

奥山亮一3票

川上直喜1票

無効 5票

●議長選挙

城丸秀高16票 当選

田中裕一3票

川上直喜1票

無効 5票

員の任期」(通常4年)ですが、川上市議は議長辞職勧告決議案(9月議会・12月議会)を提出した立場から、議長辞職とともに副議長辞職も認めました。

龍王山から風が吹き
ざわざわと春を呼ぶ



緊急情報 筑穂
元吉土砂埋立

福岡市役所が計画外搬入の土砂を全量撤去すると回答

大幅値上げ答申へ

水道料金 22%

下水道使用料 10%

上下水道事業経営審議会は2月25日、14時から穂波支所で第4回会議を行い、市長諮問の通り値上げ幅を水道料金平均22%、下水道使用料平均10%とすべきとの答申案をまとめることにしました。



日本共産党飯塚市議
川上直喜

た。川上直喜市議が傍聴しました。今回の案件は、①水道事業経営戦略案②下水道事業経営戦略案③答申案です。質問や意見など発言はなく、わずか4分で終了しました。



上下水道経営審議会が5年前、水道料金35%値上げを答申した審議は、市企業局の提起によって非公開とされました。川上市議への開示資料の多くに黒塗りがあったことから、情報公開審査会が全面開示を求める事態に発展しました。

今回答申案には値上げについて「出来るだけ速やかに行う必要」とある一方で「利用者の理解が得られるように丁寧に説明をするよう努めること」との附帯意見があります。

飯塚市が衝撃の提案

水道料 35%値上げに続き 22%値上げを2回連続

下水道料 38億円ため込みめざし 最初10%6回連続値上げ

終末処理場建替 139億円のため

日本共産党 飯塚市議 川上直喜

地方議会は監視機関であり、責任を誠実に果たさなければならぬ

3月議会初日(2月20日)に江口徹議長が辞職し、議会運営委員会と常任委員会の民主的な確立への動きが始まりました。昨年9月議会での委員会条例改正の提案は、江口議長(当時)が6月6日に行った委員会委員の指名は誤りであり、再発を許さないためでした。この条例改正は、議長を除く全ての議員の賛成で可決しました。地方自治を守るうえで教訓的です。

議長の職権濫用を糾した教訓 すべての議員の賛成で可決した 条例改正の提案理由

(昨年9月議会) 令和7年6月6日、江口徹議長が閉会中に、全国市議会議長会の指摘があったにもかかわらず、議員間の調整を行わないまま飯塚市議会委員会条例第8条第1項のただし書きにより議会運営委員会委員及び全議員を対象に常任委員会委員に指名した。その結果、正副委員長の互選が行われず、委員会が開催できず、議会運営に支障が生じた。さらに各種審議会委員も選出できなかった。江口徹議長によるこの指名は、地方自治法の立法趣旨に反するものであり、議長権限の濫用であり、誤りである。この誤りが二度と生じないよう、本案を提出するものである。

●提案文は全会派・議員が協議作成、川上直喜市議が提出者、5会派の代表者が賛成者となりました。全会一致で原案可決。